

福岡教区が「災害犠牲者追悼法要」

福岡教区は3月5日、「災害犠牲者追悼法要」を福岡市の福岡教堂で営んだ。同教区は東日本大震災を機

に、この時期に法要をつとめている。

菊池慈峰教務所長が導師をつとめ、仏前で「災害で亡くなられた全ての方を偲

び、残された方々と共に支え合っていく念仏者でありたい」と法要の趣旨を述べ、法要をつとめた。

法要後には、農利信・熊本教区教務所長が「熊本地震の現状」と題して講演した。平成28年熊本地震で受けた同教区の被害状況を説

明し、本堂が全壊した寺院の現状や復旧復興への取り組み、仮設団地でのお茶会活動など、震災当初からの歩みや活動を紹介。農教務所長は「大切なものを失った悲痛の中で、全国からボランティアなど物心両面の支援をいただき、あらためて支えられていたことに気付かされた」と、感謝の思いを話した。